



# 東京PCB廃棄物処理事業だより (No.54)

## 平成30年度東京PCB廃棄物処理施設の定期点検を実施しました

平成30年度の東京PCB廃棄物処理施設の定期点検を5月14日から6月17日の間に実施しました。期間中はすべての設備を停止して様々な検査・点検を行うと共に、施設の安全と安定操業を維持するための改善工事を行いました。

### ◆ 定期点検の安全大会開催

定期点検を無事故・無災害で行うことを目指し、定期点検作業開始となる5月14日に安全大会を開催しました。

JESCO社員及び運転会社社員、点検・整備にあたる工事請負会社などの関係者が集合し、JESCO所長による安全訓示、工事請負責任者による安全宣言などで、注意喚起と安全意識の高揚を図りました。



JESCO 所長安全訓示



定期点検安全大会

## 平成30年度全国安全週間の取り組み

### ① 安全大会の開催

全国安全週間（7月1日～7日）を迎えて、7月2日にJESCO社員及び運転会社社員による平成30年度安全大会を開催しました。

開催に当たって、JESCO所長により次のように社長メッセージが紹介されました。

- PCB廃棄物処理事業において、昨年度は2件の休業災害が発生し、前年度からの休業災害ゼロ件を継続することができず、平成30年度も5月までに4件の労働災害が発生していること。
- 安全教育、ヒヤリハット・キガカリ、リスクアセスメントなどの安全活動を推進しているが、マンネリ防止や意識啓発を促し、ゼロ災達成に努めること。
- トラブルが発生した場合は、速やかに情報伝達を行えるよう、普段から連絡体制の整備や教育・訓練の実施などを行うこと。



安全大会

以上の訓示後、大会の最後に全員で安全コールを唱和して安全意識の高揚を図りました。

### ② 安全点検の実施

全国安全週間中の活動として以下の点検を行いました。

- 7月1日（日）：家庭安全の日（家庭内の安全確認：自主活動）
- 7月2日（月）：安全大会の日（所内安全大会）
- 7月3日（火）：保護具安全の日（保護具の点検清掃：自主活動）
- 7月4日（水）：設備安全の日（設備不備の点検：自主活動）
- 7月5日（木）：職場環境整備の日（事務所、控室、倉庫4S:自主活動）
- 7月6日（金）：職場環境整備の日（現場担当エリアの4S:自主活動）
- 7月7日（土）：家庭安全の日（家庭内の安全確認：自主活動）

## 東京PCB廃棄物処理施設の運転状況について

当事業所での平成30年4月～6月の処理実績は下表のとおりです。

廃棄物の種類	4月～6月 処理完了台数	操業開始からの 処理完了台数の累計
トランス類	10台	3,467台
コンデンサ類	1,479台	56,879台

\*連結コンデンサは、内部に含まれる台数でカウントしています。

\*低濃度PCB廃棄物については、平成25年6月に処理を完了いたしました。

## ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業検討委員会 東京 PCB 処理事業部会を開催しました

7月13日、JESCO本社にて平成30年度第1回東京PCB処理事業部会(主査:永田勝也早稲田大学名誉教授)を開催しました。

部会の概要は以下のとおりでした。

議題1として、平成29年度の処理実績を報告しました。昨年度は1年を通して概ね計画通りに処理を実施し、処理重量で計画を達成できることを確認いただきました。



東京PCB処理事業部会

議題2として、長期保全計画に基づく平成29年度の実施項目を予定通りに実施したことを報告しました。

議題3として、平成29年度6月までの操業状況と設備保全の実施状況を報告しました。

議題4として、水熱分解設備の反応器底部及び底部隔壁の点検結果と今後の対応について報告しました。

議題5として、リン含有PCB油前処理設備の設置に伴う外部洗浄室等の設備解体完了について報告しました。

議題6として、リン含有PCB油前処理実証設備による実証試験結果及び実機設備の設置に向けての検討状況を報告しました。

議題7として、今年度の事業部会の開催時期と議題の予定について説明しました。

今後も各委員からご指導を頂き、引き続き安全・確実な処理を行ってまいります。

## 産業医による熱中症講話

6月21日、JESCO社員および運転会社社員を対象に産業医(テレコムセンタービルクリニック大矢院長)に熱中症についてご講話いただきました。



大矢産業医

熱中症は、高温多湿な環境に身体が適応できないことで生じる様々な症状の総称であり、軽度のものから重度のものまで、段階的に変化する症状をわかりやすく説明いただきました。

また、熱中症による死者の3割が夜間に発症していること、熱中症対策として



聴講者

一般的に知られている水分補給については、ウォーキング1時間当たりの発汗量から導かれる必要摂取量が気温31℃を超える環境になると500mペットボトル1本では足りない事、摂取する飲料は、スポーツドリンク等の適度に塩分を含む飲料を摂取することが必要であり、水だけを飲む事はとても危険であることなどが紹介され、改めて熱中症対策の大切さを認識させられる講話でした。

## 第1四半期(4月 - 6月)施設見学状況

平成30年4月から6月までの間、保管事業者、官公庁及びスーパーイコタウン見学会の参加者等、12団体76名の方々に施設見学にお越しいただきました。

	4月	5月	6月	計
団体数	5団体	2団体	5団体	12団体
見学者数	10名	53名	13名	76名

※見学を希望される場合は、下記の連絡先までお問い合わせください。

